

4
月号

青壯年部がとくしまマルシェでPR

2月25日開催された、「とくしまマルシェ」に川内支所・眉山支所の青壯年部が出店し、青果物の販売・PRを行いました。

川内支所からは、甘藷・れんじん・カコハラワードの3品目が販売され、それぞれの天ぷらを実演調理し、揚げたてを試食として提供しました。また、眉山支所からは、菌床椎茸が販売されました。袋詰めされたお手頃価格の干し椎茸、自宅で栽培できる菌床椎茸キットなども販売され、多くの買い物客かい注目を浴びました。



百合部会が出荷シーズンに向かって圃場を巡回



2月9日、花卉部会の百合部会は、彼岸・卒業・入学等セレモニーの需要が高くなる3月からの出荷シーズンに向け、生産者11名が参加して、圃場巡回を行いました。

巡回では、病害虫の有無、葉の状態・色・傷みや葉焼けがないかの確認、蕾の状態などを確認しました。この時期は、軸を硬く栽培するため、土壤によっては灌水を控えることや、多湿気味になりがちな日中はハウス内の換気をしっかりと行うことを注意事項として共有しました。現在、部会では16戸が百合を栽培しています。昨年度は約80万本が出荷され、販売金額は2億1千万円でした。今シーズンは10月から出荷が始まっていますが、7月上旬まで続く予定です。

主な品種は全体の約8割を占める「シベリア」で、西日本有数の切り花の百合産地として、市場からは高い評価を受けています。

赤坂伸一部長は、「今後、アブリムシ・灰色かびが出やすくなる時期。防除、温度・湿度管理を徹底し、高品質出荷を目指したい」と意気込んでいました。

北部営農経済センターでは、2月初旬からの気温上昇に伴い、ブロッコリーが例年よりやや早めの出荷ピークを迎えています。2月中旬は、日量平均約6,000kg（平年の約1.5倍）を出荷しました。

今年度、ブロッコリー統一部会では、生産者183戸で約35tを栽培しています。一箱一箱、入念な目視検査の実施・発泡スチロール箱による氷詰め出荷で高品質を保ち、関西市場でトップクラスの地位を確立しています。

2月9日時点での総出荷量（同日比）は2,000kg（前年比120%）で、令和5年度産は、過去最高額を記録した令和3年度産の販売高13億6,800万円を上回ることも期待されます。

プロッコリー例年よりやや早く出荷ピークを迎える



た。

農業課 竹内健二
課長は、「出荷量
が増える中、生産
者の作業性の平準
化と品質の安定を
維持していくた
い。」と話しました。

農業課 竹内健二
課長は、「出荷量
が増える中、生産
者の作業性の平準
化と品質の安定を
維持していくた
い。」と話しました。



2月中旬以降は希少価値

貯蔵ミカン出荷ピーク

日量 10～20tを選果



佐那河内果樹選果場では、貯蔵ミカンの出荷がピークを迎えていきます。佐那河内支所みかん部会では、貯蔵ミカンを生産者 70 戸で面積約 40 箇を栽培しています。今年度は表年にあたり、総出荷量 480 t（前年比 132%）、目標販売金額は 1 億円を計画しています。

2月中旬からは、貯蔵ミカンの出荷量全体の9割を占める高糖系温州「十万」の選果が始まりました。選果場では、日量 10～20 t の選果作業を行っており、箱詰めされたミカンを、主に関東へチャーター便で出荷します。2 月中旬以降の貯蔵ミカンは、全国的に出荷量が少ないことから、希少価値が高く、高値で取引されています。選果場 出口良一課長代理は、「浮皮が少なく品質良好。糖度が極めて高く、酸味も程よく食味は良好。」と話しました。



▲写真は、選果作業を行う従業員（撮影：2月 20 日）

佐那河内ふれあいまつりで優秀農林産物表彰式 大西さんが知事賞

佐那河内村で 2 月 4 日、第 24 回「佐那河内ふれあいまつり」が開催され、農林産物品評会の表彰式が行われました。

冷蔵すだち・温州みかん・キウイフルーツ・大川原ねぎ・さくらももいちごなど 154 点の出品があり、また、事前にハウスすだち 13 件・ハウスねぎの圃場審査 7 件、キウイフルーツ 8 件の審査が行われました。厳正なる審査の結果、キウイフルーツの部門において大西克典さんが徳島県知事賞を受賞しました。今年度キウイフルーツは、初夏に比較的降水量が多く、果実は順調に肥大しており外観に優れた出品物が多かったようです。中でも、大西さんの出品物は果形・果皮色・玉揃いに優れていた点が評価されました。その他、最優秀賞の農林産物受賞者は下記の方々です。

区分	賞 名	部 門	入賞者名
最優秀賞	徳島県知事賞	キウイフルーツ	大西克典さん
最優秀賞	徳島県議会議長賞	露地すだち	青木雅裕さん
最優秀賞	徳島県東部農林水産局長賞	温州みかん	西川和弘さん
//	//	さくらももいちご	日下 齋さん
最優秀賞	全国農業協同組合連合会徳島県本部長賞	温州みかん	青木雅裕さん
//	//	露地すだち	加藤秀數さん
//	//	菜の花	安藝英文さん
最優秀賞	徳島県果樹研究連合会長賞	温州みかん	大窪和代さん
//	//	冷蔵すだち	西川和弘さん
//	//	キウイフルーツ	黒石敏文さん
最優秀賞	徳島市農業協同組合長賞	さくらももいちご	里 昭男さん
//	//	大川原ねぎ	中井百合子さん
//	//	菜の花	八波田尚志さん
最優秀賞	佐那河内村長賞	露地すだち	西川和弘さん
//	//	キウイフルーツ	山西 治さん
//	//	大川原ねぎ	安藝英文さん
//	//	しいたけ	中河昭一さん
//	//	菜の花	太尾勝一さん



▲写真は、キウイフルーツの部で、徳島県知事賞を受賞した（代理）大西京子さん



▲審査の様子

区分	賞 名	部 門	入賞者名
最優秀賞	佐那河内農業振興協議会長賞	立木審査・ハウスすだち	山田昭夫さん
//	//	立木審査・キウイフルーツ	谷 昭さん
//	//	圃場審査・大川原ねぎ	青木正人さん

雑祭り商戦に向け

菜の花 検査員対象目慣らし会

雑祭り需要に向け、2 月 26 日、職員 12 名を対象に、中央集出荷場にて目慣らし会を開催しました。

手作業でラベルを巻き、150 束ずつに束にして出荷する「束出荷」は伝統となっています。市場からは、束が芸術品のように揃っていると高く評価されています。

菜の花を束にする出荷作業は、個々によって違いがあるため、品質の統一化が課題となっています。さらなる品質向上に向け、束にしたときの高さ・色目を揃えることの徹底を生産者へ促す等、検査時の注意点が共有されました。目慣らし会には、菜の花統一部会 中谷隆一部会長も参加し、「少しの束のつめ方の違いで、完成時に大きな差が出てくる。意識して作業に取り組みたい。」と話しました。

2 月 23 日時点での総出荷量は 607,663 束（前年同日比 108 %）となっており、今年度産の出荷は、気温が高いことから前倒し傾向となっています。



▲目慣らし会の様子

JA 徳島市管内の
情報をお届け
トピックス

今後の目標は！

「とにかく長く栽培し続けたい。出荷時に部会のベテラン農家に相談できる安心感や、JAに販売を一任することで、栽培に全力を注げるスタイルは自分にマッチしている。ノウハウを指導してくれた先輩農家のいる現在の部会と、ずっと繋がりを持って生産し続けたい。」

関わってくださる
すべての方々に感謝

「自分の名前が載っている出荷用フィルムを初めて手にしたとき、就農に至るまで関わってくれたすべての方々の顔が頭に浮かんだ。」という坂本さん。自分の名前が記載された出荷物が、消費者の手に届くことに責任を感じる一方で、同時にやり甲斐を感じています。



現在の状況

初年の栽培では、様々な失敗を体験しました。電照時間が長かったことで株が徒長してしまったこと、灌水の多過により満足のいく味にならなかったこと、また一番果に奇形果が多く発生したときは不安を感じました。しかし、それによって作業のすべてに意味があり、すべてが果実の出来に直結することを身をもって知ることができました。また、研修では丁寧な指導を受けられましたが、初めて一人で栽培してみると、理解できていなかった事柄に気づくことも多く、「理解すべきこと」自体に、自分が気付けていなかったことに不甲斐なさを感じました。ただ、自分ですべての責任を背負っているからこそ、満足いく収穫ができたときの喜びはひとしおです。

さくらももいちご部会
村の受験生をいちごで激励

佐那河内ももいちご部会は、2月20日、村の受験生を応援するため、佐那河内中学校の3年生10名に特産の「さくらももいちご」を贈りました。

この活動は、2016年から続けており、今年で9回目になります。

同部会 栗坂政史部会長と、部員の香川義裕さんが同校を訪れ、いちごを一人一人に配りました。生徒たちはいちごを手にし、「さくらさく！ もくひょうもって！ いらっしゃうかく！」と「さくらももいちご」と合格掛けた合言葉を皆で唱和しました。いちごを食べた生徒は、「受験は、私たちにとっての大きな試練。たくさんの村の方々に応援してもらっている実感が沸いてくる。皆さんに恩返しができるよう“合格”を勝ち取ってきます。」と意欲を燃やしていました。栗坂部会長は「自分を信じて頑張ってほしい。」と期待を込めました。

▶写真は、生徒にいちごを配る香川さん

健
康
百
科

「最近の糖尿病治療について～その4～」

徳島往診クリニック 吉田大介

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。

前回は糖尿病の治療に関する薬剤のうちメトホルミンについて説明しました。今回はメトホルミンに次ぐ第2選択薬である、SGLT2阻害薬・DPP-4阻害薬について説明します。

まず前提としてメトホルミンが禁忌の症例あるいはメトホルミンのみでは効果に乏しい場合は、ASCVD、心不全、CKD のいずれかがある or ハイリスクの場合は、心血管イベント抑制と腎保護作用のエビデンスがある SGLT2 阻害薬を、これらの合併がない場合は DPP-4 阻害薬を使用します。DPP-4 阻害薬は、単独投与では低血糖のリスクがほとんどなく、1日1回内服または1週間に1回の内服でよいため飲み忘れが少なく、さらに体重増加を来さないという利点がありますが、まだ高価で、心血管病変を抑制するエビデンスがないことが欠点です。

*従来日本では、メトホルミンで見られる乳酸アシドーシスという副作用を重視する余り、膵臓の細胞に作用し、膵臓からのインスリン分泌を促し血糖値を下げる作用を持つ SU 薬が広く使われてきましたが、遷延性の低血糖を生じる危険性があること、体重増加を来すこと、そして心血管病変を抑制するエビデンスがないことにより第1選択薬から外されました。

・SGLT2（エス・ジー・エル・ティー・ツー）阻害薬は、尿に糖を出すことで血糖を下げる飲み薬です。SGLT2とはsodium glucose cotransporter(sodium glucose transporter)の略で「ナトリウム・グルコース共役輸送体」というタンパク質の1種で体内でグルコースやナトリウムを細胞内に取り込む役割を担っています。SGLT2の中でSGLT2は腎臓にのみ存在し、原尿中のグルコースの再吸収の約90%を担っています。SGLT2阻害剤はSGLT2の働きを阻害することで、腎臓でのグルコースの再吸収を抑制し、尿糖として排泄させ、その結果、高血糖を改善し、血糖値をコントロールする薬剤です。以下、メリットと注意点を挙げます。

SGLT2阻害剤のメリット

- ・インスリン分泌に依存しない作用機序のため、低血糖のリスクが少ない
- ・体重減少効果
- ・血圧低下作用
- ・脂質改善効果

SGLT2阻害剤の注意点

- ・多尿による脱水、特に腎機能が低下している患者、高齢者には注意
- ・尿糖による尿路感染症、性器感染症（特に女性）など

農業者年金 で老後の生活を安心サポート！

農業者の方なら広く加入できます

加入要件

- ①65歳未満の人(60～65歳未満の人は国民年金任意加入者に限る)
- ②年間60日以上農業に従事
- ③国民年金第1号被保険者に該当する人



保険料額は自由に決められます

通常加入の場合 月額2万円から6万7千円まで千円単位で変更可能

35歳未満で認定農業者に該当しない等一定の要件を満たす方は、1万円からでも加入できます

終身年金で80歳までの保証付きです

税制面で優遇措置があります

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象

農業の担い手には、政策支援（保険料の国庫補助）があります

一定の要件を満たす農業の担い手に対して、保険料の国庫補助が設けられています

ご興味のある方は、最寄りの支所へお気軽にご相談ください。

詳しくは



理事会だより (開催:令和6年2月21日)

協議事項

- (1)給油所計量機の更新及び釣銭機ユニット設備改修について【可決】
- (2)ガス配管設備の設置について【可決】
- (3)出資口数の一部減口について【可決】
- (4)3億円超の信用の供与について【可決】
- (5)組合と理事の利益相反取引について【可決】
- (6)参事の任命について【可決】

報告事項

- (1)令和5年度下期内部監査報告書について
- (2)債権回収について
- (3)本所基本構想プロジェクト第3回の協議内容について
- (4)前回金融共済委員会および営農経済委員会の協議内容について
- (5)理事会決議事項処理状況報告について
- (6)その他 見込損益計算書について

お詫びと訂正

本誌2024年3月号1ページ「果樹選果場 共同冷蔵庫を更新」の記事の内容（7行目～）において、記載事項に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げ、ここに訂正いたします。

誤)機能強化工事は、JA共済・地域農業活性化助成、農林中金・ふるさと共創事業、県単事業・農山漁村未来創造事業を活用し行われ

正)機能強化工事は、農林中金・ふるさと共創事業、県単事業・農山漁村未来創造事業、佐那河内村農山漁村未来創造事業を活用し行われ

相談

●島田清弁護士の無料法律相談

【日 時】第3土曜日 9:00～12:00

【申込先】金融共済部へ事前に予約が必要

☎ 088-622-8003

【場 所】本所1階金融相談室

●賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

【日 時】4/16(火)、4/23(火)、4/30(火)

9:30～15:00

【申込先】総務部へ事前に予約が必要

☎ 088-622-6335

【場 所】本所1階金融相談室



2月20日：佐那河内選果場



2月17日：さくらももいちご消費宣伝
(伊勢丹新宿店)



2月9日：百合部会圃場巡回



2月19日：北部営農経済センター
プロッコリー荷受け